

高岡市民病院事業会計

高岡市民病院事業会計

1 業務状況

令和5年度の延患者数は 246,790 人で、前年度に比べ 15,066 人(△5.8%)減少している。
そのうち入院患者数は 84,772 人で、前年度に比べ 5,536 人(△6.1%)減少し、外来患者数は 162,018 人で、前年度に比べ 9,530 人(△5.6%)減少している。

また、病床利用率は 62.1%で、前年度に比べ 4.2 ポイント低下している。

(1) 業務実績

区 分		単位	令和5年度 A	令和4年度 B	令和3年度	前年度との比較	
						増減C(A-B)	率C/B(%)
病床数		床	373	373	401	0	—
一般病床		床	305	305	333	0	—
精神病床		床	50	50	50	0	—
結核病床		床	12	12	12	0	—
感染症病床		床	6	6	6	0	—
診療日数	入院	日	366	365	365	1	0.3
	外来	日	243	243	242	0	—
延患者数		人	246,790	261,856	274,821	△ 15,066	△ 5.8
年間入院患者数		人	84,772	90,308	98,352	△ 5,536	△ 6.1
1日平均入院患者数		人	231.6	247.4	269.5	△ 15.8	△ 6.4
年間外来患者数		人	162,018	171,548	176,469	△ 9,530	△ 5.6
1日平均外来患者数		人	666.7	706.0	729.2	△ 39.3	△ 5.6
病床利用率		%	62.1	66.3	67.2	△ 4.2	
一般病床		%	66.5	71.3	70.3	△ 4.8	
精神病床		%	51.5	48.0	60.4	3.5	
結核病床		%	25.0	49.8	43.6	△ 24.8	
感染症病床		%	0.0	0.0	0.0	0.0	
職員数		人	465	485	484	△ 20	△ 4.1
平均在院日数		日	11.9	12.5	13.1	△ 0.6	△ 4.8

- (注) 1 病床利用率 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$
2 職員数(各年度末現在)には、会計年度任用職員は含まれていない。

(2) 科別入院患者数比較表

(単位:人・%)

科 名	入 院 患 者 数					1 日平均患者数			
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度との比較		令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度との比較 D-E
	A	B		増減 C(A-B)	率C/B	D	E		
内科	23,362	29,452	27,789	△ 6,090	△ 20.7	63.8	80.7	76.1	△ 16.9
脳神経内科	6,032	6,241	3,817	△ 209	△ 3.3	16.5	17.1	10.5	△ 0.6
消化器内科	12,708	12,759	13,386	△ 51	△ 0.4	34.7	35.0	36.7	△ 0.3
精神神経科	9,457	8,764	11,037	693	7.9	25.8	24.0	30.2	1.8
小児科	979	569	1,053	410	72.1	2.7	1.6	2.9	1.1
外科	6,883	7,161	10,042	△ 278	△ 3.9	18.8	19.6	27.5	△ 0.8
胸部・血管外科	0	659	1,144	△ 659	皆減	0.0	1.8	3.1	△ 1.8
整形外科	11,002	10,446	10,725	556	5.3	30.1	28.6	29.4	1.5
脳神経外科	81	55	5,652	26	47.3	0.2	0.2	15.5	0.0
皮膚科	304	262	415	42	16.0	0.8	0.7	1.1	0.1
形成外科	842	511	640	331	64.8	2.3	1.4	1.8	0.9
泌尿器科	5,075	4,128	4,695	947	22.9	13.9	11.3	12.9	2.6
産婦人科	3,084	4,491	3,986	△ 1,407	△ 31.3	8.4	12.3	10.9	△ 3.9
眼科	2,486	2,078	2,301	408	19.6	6.8	5.7	6.3	1.1
耳鼻咽喉科	430	413	656	17	4.1	1.2	1.1	1.8	0.1
放射線科	0	0	0	0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	428	643	719	△ 215	△ 33.4	1.2	1.8	2.0	△ 0.6
麻酔科	81	40	38	41	102.5	0.2	0.1	0.1	0.1
リウマチ科	142	160	257	△ 18	△ 11.3	0.4	0.4	0.7	0.0
リハビリテーション科	0	0	0	0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
感染症内科	0	0		0	—	0.0	0.0		0.0
緩和ケア内科	1,396	1,476		△ 80	△ 5.4	3.8	4.0		△ 0.2
計	84,772 (366)	90,308 (365)	98,352 (365)	△ 5,536	△ 6.1	231.6	247.4	269.5	△ 15.8

(注) () 内は、各年度の診療日数である。

年間入院患者数は延 84,772 人で、前年度に比べ 5,536 人(△6.1%)減少している。

1 日平均患者数は 231.6 人で、前年度に比べ 15.8 人減少している。前年度に比べ増加した科は泌尿器科、精神神経科、整形外科等で、減少した科は内科、産婦人科、胸部・血管外科等である。

(3) 科別外来患者数比較表

(単位：人・%)

科 名	外 来 患 者 数					1 日平均患者数			
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度との比較		令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度との比較 D-E
	A	B		増減 C (A-B)	率C/B	D	E		
内科	28,352	32,691	33,125	△ 4,339	△ 13.3	116.7	134.5	136.9	△ 17.8
脳神経内科	5,148	5,080	4,867	68	1.3	21.2	20.9	20.1	0.3
消化器内科	12,581	14,245	14,305	△ 1,664	△ 11.7	51.8	58.6	59.1	△ 6.8
精神神経科	15,196	14,860	14,897	336	2.3	62.5	61.2	61.6	1.3
小児科	2,791	2,872	2,747	△ 81	△ 2.8	11.5	11.8	11.4	△ 0.3
外科	8,467	9,479	9,459	△ 1,012	△ 10.7	34.8	39.0	39.1	△ 4.2
胸部・血管外科	460	1,525	2,273	△ 1,065	△ 69.8	1.9	6.3	9.4	△ 4.4
整形外科	9,850	10,891	11,722	△ 1,041	△ 9.6	40.5	44.8	48.4	△ 4.3
脳神経外科	3,235	3,432	4,743	△ 197	△ 5.7	13.3	14.1	19.6	△ 0.8
皮膚科	6,117	6,387	6,213	△ 270	△ 4.2	25.2	26.3	25.7	△ 1.1
形成外科	3,292	3,521	3,446	△ 229	△ 6.5	13.5	14.5	14.2	△ 1.0
泌尿器科	10,085	10,180	9,801	△ 95	△ 0.9	41.5	41.9	40.5	△ 0.4
産婦人科	7,420	8,589	8,465	△ 1,169	△ 13.6	30.5	35.3	35.0	△ 4.8
眼科	10,232	9,652	9,722	580	6.0	42.1	39.7	40.2	2.4
耳鼻咽喉科	2,062	2,492	2,690	△ 430	△ 17.3	8.5	10.3	11.1	△ 1.8
放射線科	3,439	3,672	3,810	△ 233	△ 6.3	14.2	15.1	15.7	△ 0.9
歯科口腔外科	5,345	5,512	5,878	△ 167	△ 3.0	22.0	22.7	24.3	△ 0.7
麻酔科	2,144	2,305	2,336	△ 161	△ 7.0	8.8	9.5	9.7	△ 0.7
リウマチ科	1,841	2,033	2,175	△ 192	△ 9.4	7.6	8.4	9.0	△ 0.8
リハビリテーション科	23,818	21,993	23,795	1,825	8.3	98.0	90.5	98.3	7.5
感染症内科	0	0		0	—	0.0	0.0		0.0
緩和ケア内科	143	137		6	4.4	0.6	0.6		0.0
計	162,018 (243)	171,548 (243)	176,469 (242)	△ 9,530	△ 5.6	666.7	706.0	729.2	△ 39.3

(注) () 内は、各年度の診療日数である。

年間外来患者数は延 162,018 人で、前年度に比べ 9,530 人(△5.6%)減少している。

1 日平均患者数は 666.7 人で、前年度に比べ 39.3 人減少している。前年度に比べ増加した科はリハビリテーション科、眼科、精神神経科等で、減少した科は内科、消化器内科、産婦人科等である。

(4) 科別入院診療収入比較表

(単位：診療収入：千円・％、患者１人１日当たり診療収入：円)

科 名	令和５年度 A	令和４年度 B	令和３年度	前年度との比較		患者１人１日当たり診療収入			
				増減 C (A-B)	率C/B	令和５年度 D	令和４年度 E	令和３年度	前年度との 比較 D-E
内科	1,474,107	1,673,024	1,595,230	△ 198,917	△ 11.9	63,098	56,805	57,405	6,293
脳神経内科	277,037	298,821	171,799	△ 21,784	△ 7.3	45,928	47,880	45,009	△ 1,952
消化器内科	719,354	731,425	742,005	△ 12,071	△ 1.7	56,606	57,326	55,431	△ 720
精神神経科	177,802	165,947	198,499	11,855	7.1	18,801	18,935	17,985	△ 134
小児科	51,017	31,023	49,305	19,994	64.4	52,111	54,522	46,823	△ 2,411
外科	549,647	561,705	699,754	△ 12,058	△ 2.1	79,856	78,439	69,683	1,417
胸部・血管外科	0	46,868	81,992	△ 46,868	皆減	0	71,120	71,671	△ 71,120
整形外科	705,579	703,305	683,065	2,274	0.3	64,132	67,328	63,689	△ 3,196
脳神経外科	11,039	9,385	291,770	1,654	17.6	136,284	170,636	51,622	△ 34,352
皮膚科	10,382	9,614	13,595	768	8.0	34,151	36,696	32,759	△ 2,545
形成外科	31,548	24,256	26,879	7,292	30.1	37,468	47,468	41,999	△ 10,000
泌尿器科	360,245	263,989	279,350	96,256	36.5	70,984	63,951	59,499	7,033
産婦人科	283,874	357,018	327,015	△ 73,144	△ 20.5	92,047	79,496	82,041	12,551
眼科	268,851	231,075	225,837	37,776	16.3	108,146	111,200	98,147	△ 3,054
耳鼻咽喉科	29,087	27,797	37,050	1,290	4.6	67,644	67,304	56,479	340
放射線科	0	0	0	0	—	0	0	0	0
歯科口腔外科	29,549	40,641	46,052	△ 11,092	△ 27.3	69,040	63,206	64,050	5,834
麻酔科	11,836	10,339	8,261	1,497	14.5	146,123	258,472	217,403	△ 112,349
リウマチ科	6,366	7,088	9,793	△ 722	△ 10.2	44,831	44,300	38,106	531
リハビリテーション科	0	0	0	0	—	0	0	0	0
感染症内科	0	0		0	—	0	0		0
緩和ケア内科	71,408	73,903		△ 2,495	△ 3.4	51,152	50,070		1,082
計	5,068,728	5,267,223	5,487,251	△ 198,495	△ 3.8	59,792	58,325	55,792	1,467

年間入院診療収入は5,068,728千円で、前年度に比べ198,495千円(△3.8%)減少している。

患者１人１日当たりの診療収入は59,792円で、前年度に比べ1,467円増加している。前年度に比べ増加した科は産婦人科、泌尿器科、内科等で、減少した科は麻酔科、胸部・血管外科、脳神経外科等である。

(5) 科別外来診療収入比較表

(単位：診療収入：千円・％、患者１人１日当たり診療収入：円)

科名	令和５年度 A	令和４年度 B	令和３年度	前年度との比較		患者１人１日当たり診療収入			
				増減 C (A-B)	率C/B	令和５年度 D	令和４年度 E	令和３年度	前年度との 比較 D-E
内科	499,636	538,387	525,641	△ 38,751	△ 7.2	17,623	16,469	15,868	1,154
脳神経内科	31,637	28,625	27,331	3,012	10.5	6,145	5,635	5,616	510
消化器内科	245,752	247,883	212,595	△ 2,131	△ 0.9	19,534	17,401	14,862	2,133
精神神経科	73,365	67,938	70,222	5,427	8.0	4,828	4,572	4,714	256
小児科	21,117	31,086	22,774	△ 9,969	△ 32.1	7,566	10,824	8,290	△ 3,258
外科	275,441	318,487	308,818	△ 43,046	△ 13.5	32,531	33,599	32,648	△ 1,068
胸部・血管外科	5,186	20,281	35,125	△ 15,095	△ 74.4	11,274	13,299	15,453	△ 2,025
整形外科	74,735	89,811	96,785	△ 15,076	△ 16.8	7,587	8,246	8,257	△ 659
脳神経外科	30,106	31,322	38,496	△ 1,216	△ 3.9	9,306	9,127	8,116	179
皮膚科	22,831	16,815	14,859	6,016	35.8	3,732	2,633	2,392	1,099
形成外科	9,135	12,388	12,086	△ 3,253	△ 26.3	2,775	3,518	3,507	△ 743
泌尿器科	268,533	182,433	158,122	86,100	47.2	26,627	17,921	16,133	8,706
産婦人科	59,913	73,967	76,234	△ 14,054	△ 19.0	8,075	8,612	9,006	△ 537
眼科	176,240	141,281	145,943	34,959	24.7	17,224	14,638	15,012	2,586
耳鼻咽喉科	18,029	21,457	21,523	△ 3,428	△ 16.0	8,743	8,610	8,001	133
放射線科	70,343	78,407	84,750	△ 8,064	△ 10.3	20,454	21,353	22,244	△ 899
歯科口腔外科	37,648	39,681	40,247	△ 2,033	△ 5.1	7,044	7,199	6,847	△ 155
麻酔科	9,412	10,417	15,786	△ 1,005	△ 9.6	4,390	4,519	6,758	△ 129
リウマチ科	31,267	37,153	39,964	△ 5,886	△ 15.8	16,984	18,275	18,374	△ 1,291
リハビリテーション科	72,519	65,808	73,798	6,711	10.2	3,045	2,992	3,101	53
感染症内科	0	0		0	—	0	0		0
緩和ケア内科	418	552		△ 134	△ 24.3	2,923	4,027		△ 1,104
計	2,033,263	2,054,179	2,021,099	△ 20,916	△ 1.0	12,550	11,974	11,453	576

年間外来診療収入は2,033,263千円で、前年度に比べ20,916千円(△1.0%)減少している。

患者１人１日当たりの診療収入は12,550円で、前年度に比べ576円増加している。前年度に比べ増加した科は泌尿器科、眼科、消化器内科等で、減少した科は小児科、胸部・血管外科、リウマチ科等である。

(6) 手術及び検査状況

(単位：件・%)

区 分	令和 5 年度 A	令和 4 年度 B	令和 3 年度	前年度との比較	
				増減C (A-B)	率C/B
手術件数	4,013	3,886	3,778	127	3.3
検査件数	1,703,024	1,807,923	1,896,828	△ 104,899	△ 5.8
X線件数	48,896	51,500	57,971	△ 2,604	△ 5.1

(注) X線件数のうちエコー件数は除く。

(7) 処方箋の状況

(単位：枚・%)

区 分	令和 5 年度 A	令和 4 年度 B	令和 3 年度	前年度との比較	
				増減C (A-B)	率C/B
処方箋枚数	75,368	79,687	80,841	△ 4,319	△ 5.4
うち院外処方箋枚数	71,256	73,669	76,255	△ 2,413	△ 3.3
院外処方箋率	94.5	92.4	94.3	2.1	2.3

(8) 調剤の状況

(単位：件・%)

区 分	令和 5 年度 A	令和 4 年度 B	令和 3 年度	前年度との比較	
				増減C (A-B)	率C/B
入院患者調剤件数	85,665	81,070	89,895	4,595	5.7
外来患者調剤件数	9,996	14,040	12,811	△ 4,044	△ 28.8
計	95,661	95,110	102,706	551	0.6

(9) 給食の状況

(単位：食・%)

区 分	令和 5 年度 A	令和 4 年度 B	令和 3 年度	前年度との比較	
				増減C (A-B)	率C/B
一般食数	121,664	112,030	147,193	9,634	8.6
特別食数	75,686	77,940	89,285	△ 2,254	△ 2.9
計	197,350	189,970	236,478	7,380	3.9

(注) 特別食はエネルギーコントロール食、たんぱくコントロール食などである。

(10) 部門別 100 床当たり職員数

(単位：人・%)

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度		令和 3 年度		前年度との比較		全国平均 (令和 4 年度)
	職員数	100床当たり 職員数 A	職員数	100床当たり 職員数 B	職員数	100床当たり 職員数	増減 C (A-B)	率 C/B	
医師	67	18.0	65	17.4	70	17.5	0.6	3.4	16.0
看護部門	314	84.2	329	88.2	333	83.0	△ 4.0	△ 4.5	77.9
事務部門	25	6.7	25	6.7	25	6.2	0.0	—	9.3
薬剤部門	17	4.6	16	4.3	16	4.0	0.3	7.0	24.6
給食部門	6	1.6	6	1.6	6	1.5	0.0	—	
放射線部門	16	4.3	17	4.6	16	4.0	△ 0.3	△ 6.5	
検査部門	17	4.5	21	5.6	20	5.0	△ 1.1	△ 19.6	
その他職員	21	5.6	21	5.6	20	5.0	0.0	—	1.9
計	483	129.5	500	134.0	506	126.2	△ 4.5	△ 3.4	129.7

(注) 1 部門別 100 床当たり職員数 = $\frac{\text{部門別職員数}}{\text{病床数}} \times 100$

2 医師職員数には、フルタイム会計年度任用職員を含む。

3 事務部門の職員数は、診療情報管理士を含む。

100 床当たりの職員数は 129.5 人で、前年度に比べ 4.5 人 (△3.4%) 減少している。

(11) 職員（医師・看護部門）１人１日当たり患者数・診療収入比較表

(単位:人・円・%)

区 分			令和５年度 A	令和４年度 B	令和３年度	前年度との比較		全国平均 (令和４年度)
						増減C(A-B)	率C/B	
患者数	医 師	入 院	3.1	3.5	3.6	△ 0.4	△ 11.4	3.4
		外 来	5.9	6.6	6.5	△ 0.7	△ 10.6	5.8
		計	9.0	10.1	10.1	△ 1.1	△ 10.9	9.2
	看護部門	入 院	0.6	0.6	0.6	0.0	—	0.7
		外 来	1.1	1.1	1.2	0.0	—	1.3
		計	1.7	1.7	1.8	0.0	—	2.0
診療収入		医 師	259,216	283,051	277,820	△ 23,835	△ 8.4	291,807
		看護部門	47,851	47,680	49,310	171	0.4	64,041

(注) 1 職員１人１日当たり患者数 = $\frac{\text{年間延入院（又は外来）患者数}}{\text{年間延医師（又は看護部門）数}}$

2 「年間延医師（又は看護部門）数」は、年度中において在籍した医師（フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員を含む。）の延数〔又は看護部門（フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員を含む。）の延数〕である。

3 職員１人１日当たり診療収入 = $\frac{\text{入院・外来診療収入}}{\text{年間延医師（又は看護部門）数}}$

職員１人１日当たりの患者数は、医師部門の入院及び外来の合計人数が9.0人で、前年度に比べ1.1人（△10.9%）減少している。看護部門の入院及び外来の合計人数は1.7人で、前年度と同数である。

職員１人１日当たりの診療収入は、医師部門が259,216円で、前年度に比べ23,835円（△8.4%）減少し、看護部門は47,851円で、前年度に比べ171円（0.4%）増加している。

(12) 検査の状況

区 分		単位	令和５年度 A	令和４年度 B	令和３年度	前年度との比較		全国平均 (令和４年度)
						増減C(A-B)	率C/B(%)	
患者100人当たり検査件数		件	690.1	690.4	690.2	△ 0.3	△ 0.0	575.5
検査技師１人当たり検査件数		件	100,178	86,092	94,841	14,086	16.4	61,179
検査技師１人当たり検査収入		千円	29,097	27,523	30,273	1,574	5.7	29,165

(注) 1 患者100人当たり検査件数 = $\frac{\text{年間検査件数}}{\text{年間延入院・外来患者数}} \times 100$

2 検査技師１人当たり検査収入 = $\frac{\text{入院・外来検査収入}}{\text{検査技師数}}$

患者100人当たりの検査件数は690.1件で、前年度に比べ0.3件(0.0%)減少している。

検査技師１人当たりの検査件数は100,178件で、前年度に比べ14,086件(16.4%)、検査収入は29,097千円で、前年度に比べ1,574千円(5.7%)増加している。

(13) 材料費

区 分		単位	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度との比較		全国平均 (令和 4 年度)
			A	B		増減 C(A-B)	率 C/B(%)	
薬品費	薬品費	千円	1,071,214	998,288	901,431	72,926	7.3	
	経常費用に占める割合	%	11.5	10.8	10.2	0.7		11.3
	医業収益に対する割合	%	14.6	13.1	11.6	1.5		12.9
	患者 1 人 1 日当たり薬品費	円	4,341	3,812	3,280	529	13.9	4,717
	薬品使用効率	投薬	%	75.0	77.9	△ 2.9		93.2
		注射	%	81.7	80.1	1.6		94.8
		計	%	81.1	79.9	1.2		94.5
診療材料費	診療材料費	千円	645,589	688,235	692,665	△ 42,646	△ 6.2	
	経常費用に占める割合	%	6.9	7.4	7.8	△ 0.5		9.5
	医業収益に対する割合	%	8.8	9.0	8.9	△ 0.2		10.9
給食材料費	給食材料費	千円	66,936	65,460	68,411	1,476	2.3	
	経常費用に占める割合	%	0.7	0.7	0.8	0.0		0.3
	医業収益に対する割合	%	0.9	0.9	0.9	0.0		0.4
	患者 1 人 1 日当たり給食材料費	円	790	725	696	65	9.0	372
	患者 1 人 1 日当たり給食収入	円	1,574	1,562	1,633	12	0.8	1,496
	計	千円	1,783,739	1,751,983	1,662,507	31,756	1.8	

(注) 1 薬品使用効率 = $\frac{\text{薬品収入}}{\text{薬品費}} \times 100$

2 診療材料費には、医療消耗備品を含む。

ア 薬品費

薬品費は 1,071,214 千円で、前年度に比べ 72,926 千円 (7.3%) 増加している。

患者 1 人 1 日当たりの薬品費は 4,341 円で、前年度に比べ 529 円 (13.9%) 増加している。

また、経常費用に占める割合は 11.5% で、前年度に比べ 0.7 ポイント上昇している。医業収益に対する割合は 14.6% で、前年度に比べ 1.5 ポイント上昇している。

イ 診療材料費

診療材料費は 645,589 千円で、前年度に比べ 42,646 千円 (△6.2%) 減少している。

また、経常費用に占める割合は 6.9% で、前年度に比べ 0.5 ポイント低下し、医業収益に対する割合は 8.8% で、前年度に比べ 0.2 ポイント低下している。

ウ 給食材料費

給食材料費は 66,936 千円で、前年度に比べ 1,476 千円 (2.3%) 増加している。

入院患者 1 人 1 日当たりの給食材料費は 790 円で、前年度に比べ 65 円 (9.0%) 増加し、給食収入は 1,574 円で、前年度に比べ 12 円 (0.8%) 増加している。

また、経常費用に占める割合は 0.7%、医業収益に対する割合は 0.9% で、前年度と同率である。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（消費税込み）

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分		予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	予算額に対する 増減 B+C-A 又は不用額 A-B-C	執行率 B/A	備 考
収 入	1 医業収益	8,242,976	7,370,031		△ 872,945	89.4	仮受消費税 13,474
	2 医業外収益	1,578,401	1,412,933		△ 165,468	89.5	仮受消費税 3,354
	3 特別利益	1	0		△ 1	0.0	
	計	9,821,378	8,782,964		△ 1,038,414	89.4	仮受消費税 16,828
支 出	1 医業費用	9,389,822	8,969,189	0	420,633	95.5	仮払消費税 221,908
	2 医業外費用	361,064	356,661	0	4,403	98.8	
	3 特別損失	141	0	0	141	0.0	
	4 予備費	0	0	0	0	—	
	計	9,751,027	9,325,850	0	425,177	95.6	仮払消費税 221,908
収支差引額		70,351	△ 542,886				

ア 収益的収入

予算額 9,821,378 千円に対し、決算額は 8,782,964 千円(仮受消費税 16,828 千円を含む。)で、執行率 89.4%、1,038,414 千円の収入減である。

これは主に、医業収益が減少したことによるものである。

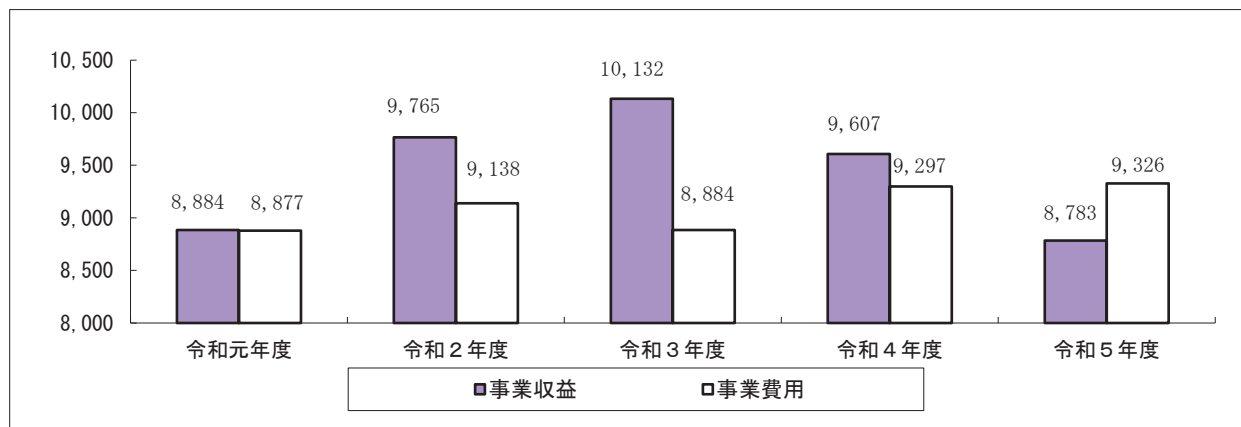
イ 収益的支出

予算額 9,751,027 千円に対し、決算額は 9,325,850 千円(仮払消費税 221,908 千円を含む。)で、執行率 95.6%、425,177 千円の不用額が生じている。

これは主に、医業費用に不用額が生じたことによるものである。

収益的収入及び支出決算額の推移

(単位：百万円)



(2) 資本的収入及び支出(消費税込み)

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分		予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	予算額に対する 増減 B+C-A 又は不用額 A-B-C	執行率 B/A	備 考
収 入	1 企業債	1,851,100	1,604,400		△ 246,700	86.7	翌年度繰越額に係る 財源充当額 30,000
	2 出資金	97,347	99,482		2,135	102.2	
	3 固定資産売却収入	1,050	203		△ 847	19.3	
	4 補助金	0	0		0	—	
	計	1,949,497	1,704,085		△ 245,412	87.4	
支 出	1 建設改良費	1,914,872	1,636,832	147,829	130,211	85.5	仮払消費税 148,799
	2 企業債償還金	1,106,421	1,106,420	0	1	100.0	
	3 投資及び出資金	1,050	245	0	805	23.3	
	計	3,022,343	2,743,497	147,829	131,017	90.8	仮払消費税 148,799
収支差引額		△ 1,072,846	△ 1,039,412				

ア 資本的収入

予算額 1,949,497 千円に対し、決算額は 1,704,085 千円で、執行率 87.4%、245,412 千円の収入減である。

これは主に、企業債が減少したことによるものである。

イ 資本的支出

予算額 3,022,343 千円に対し、決算額は 2,743,497 千円（仮払消費税 148,799 千円を含む。）で、執行率 90.8%、翌年度繰越額 147,829 千円を差し引くと 131,017 千円の不用額が生じている。

これは主に、建設改良費に不用額が生じたことによるものである。

ウ 補てん財源

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 30,000 千円を除く）が資本的支出額に不足する額 1,069,412 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 1,016,051 千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,383 千円並びに繰越工事資金 49,978 千円で補てんされている。

(3) その他の事項

ア 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算の定めに従って行われていた。

イ 一時借入金

一時借入金の限度額は1,000,000千円であるが、借入れはなかった。

ウ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

この経費は職員給与費及び交際費であり、他の経費との間における流用はなかった。

エ 他会計からの補助金

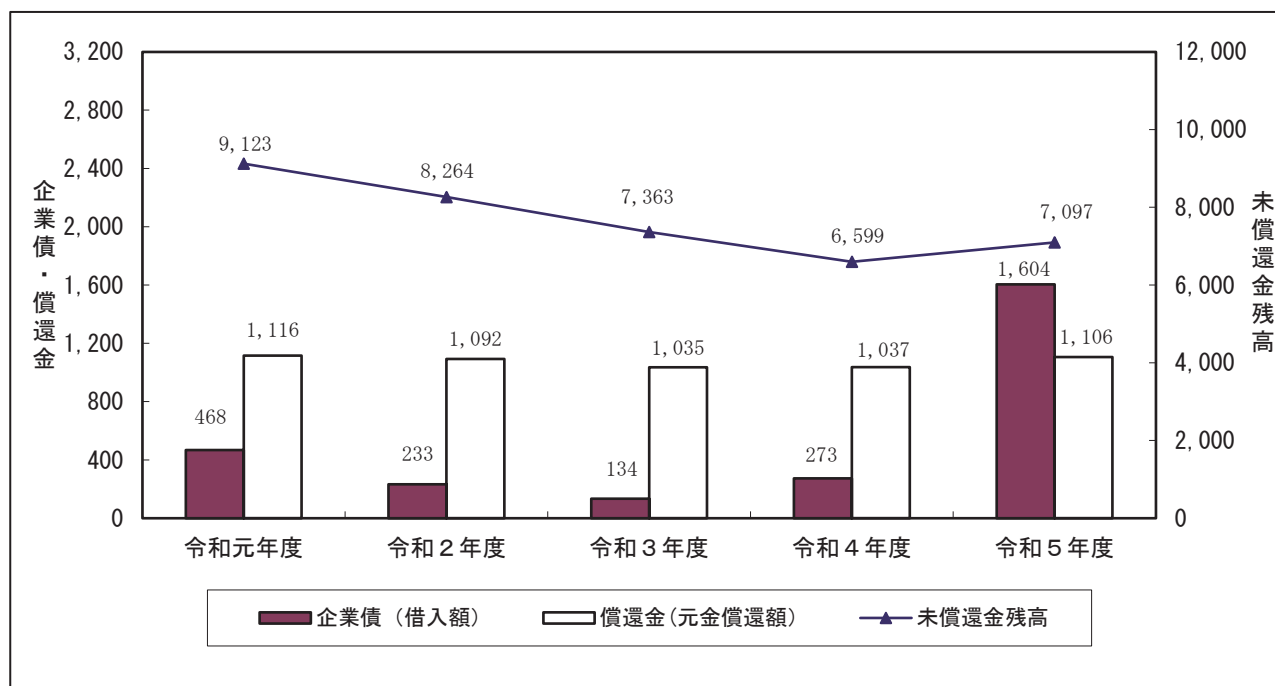
一般会計からの補助金は、予算の範囲内であった。

オ たな卸資産の購入状況

予算に定められたたな卸資産の購入限度額は1,205,760千円で、購入額はその範囲内であった。

企業債（借入額）、償還金（元金償還額）及び未償還金残高の推移

（単位：百万円）



3 経営状況

経営状況は、下表のとおりである。

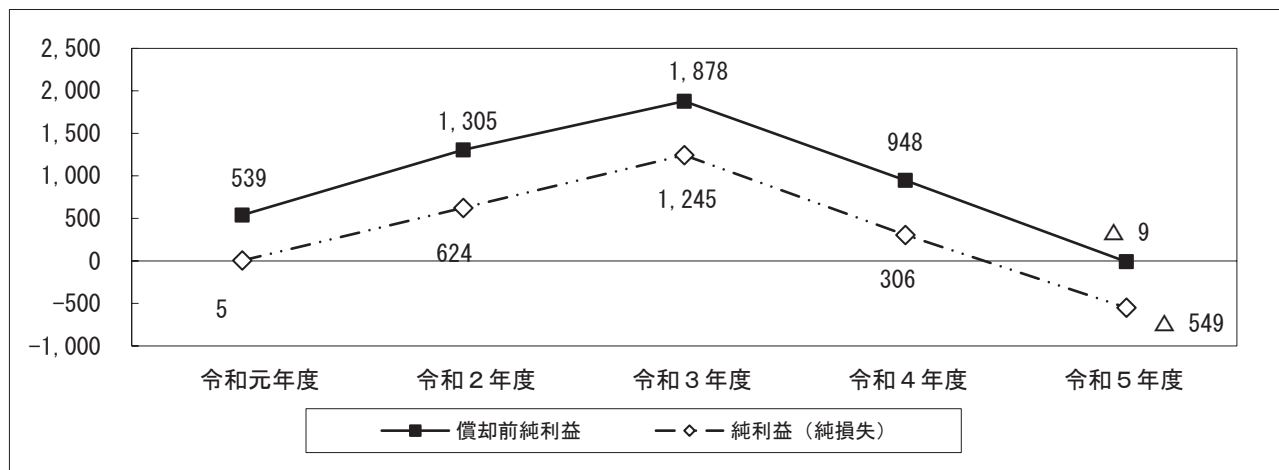
損益比較表

(単位:千円・%)

区 分		令和5年度		令和4年度	令和3年度	前年度との比較	
		金額 A	構成比	B		増減C(A-B)	率C/B
収 益	1 医業収益 (ア)	7,356,557	83.9	7,605,314	7,792,698	△ 248,757	△ 3.3
	2 医業外収益 (イ)	1,409,579	16.1	1,983,184	2,317,089	△ 573,605	△ 28.9
	3 特別利益 (ウ)	0	0.0	0	5,039	0	—
	計	8,766,136	100.0	9,588,498	10,114,826	△ 822,362	△ 8.6
費 用	1 医業費用 (エ)	8,747,280	93.9	8,788,427	8,409,832	△ 41,147	△ 0.5
	2 医業外費用 (オ)	567,725	6.1	494,011	454,912	73,714	14.9
	3 特別損失 (カ)	0	0.0	0	5,037	0	—
	計	9,315,005	100.0	9,282,438	8,869,781	32,567	0.4
医業収支 (ア)－(エ) a		△ 1,390,723		△ 1,183,113	△ 617,134	△ 207,610	△ 17.5
医業外収支 (イ)－(オ) b		841,854		1,489,173	1,862,177	△ 647,319	△ 43.5
経常収支 (a+b) c		△ 548,869		306,060	1,245,043	△ 854,929	△ 279.3
特別収支 (ウ)－(カ) d		0		0	2	0	—
当年度純利益(△損失) c + d		△ 548,869		306,060	1,245,045	△ 854,929	△ 279.3

償却前純利益と純利益(純損失)の推移

(単位:百万円)



収益 8,766,136 千円に対し、費用は 9,315,005 千円で、548,869 千円の当年度純損失が生じている。

前年度に比べ 854,929 千円 (△279.3%) の減益である。

(1) 収益の部

収益の内訳は、下表のとおりである。

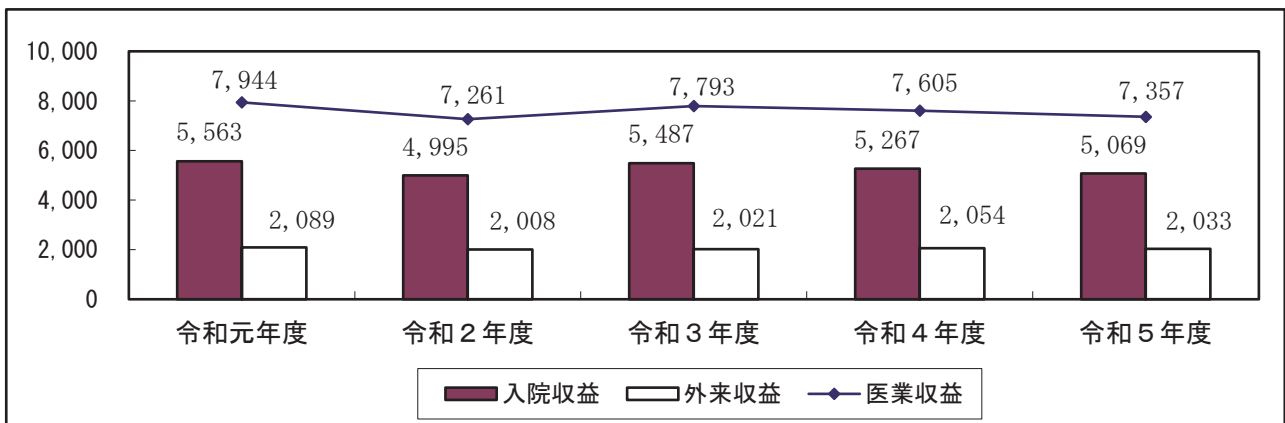
収益内訳表

(単位:千円・%)

区 分		令和 5 年度		令和 4 年度 B	令和 3 年度	前年度との比較	
		金額 A	構成比			増減C (A-B)	率C/B
収	1 医業収益	7,356,557	83.9	7,605,314	7,792,698	△ 248,757	△ 3.3
	(1)入院収益	5,068,728	57.8	5,267,223	5,487,251	△ 198,495	△ 3.8
	(2)外来収益	2,033,263	23.2	2,054,179	2,021,099	△ 20,916	△ 1.0
	(3)その他医業収益	254,566	2.9	283,912	284,348	△ 29,346	△ 10.3
益	2 医業外収益	1,409,579	16.1	1,983,184	2,317,089	△ 573,605	△ 28.9
	(1)受取利息及び配当金	0	0.0	0	0	0	—
	(2)他会計補助金	1,311,236	15.0	1,885,816	2,018,177	△ 574,580	△ 30.5
	(3)長期前受金戻入	62,449	0.7	56,679	46,071	5,770	10.2
	(4)その他医業外収益	35,894	0.4	40,689	252,841	△ 4,795	△ 11.8
	3 特別利益	0	0.0	0	5,039	0	—
	(1)その他特別利益	0	0.0	0	5,039	0	—
	計	8,766,136	100.0	9,588,498	10,114,826	△ 822,362	△ 8.6

医業収益の推移

(単位:百万円)



ア 医業収益

医業収益は7,356,557千円で、前年度に比べ248,757千円(△3.3%)減少している。
これは主に、入院収益が減少したことによるものである。

イ 医業外収益

医業外収益は1,409,579千円で、前年度に比べ573,605千円(△28.9%)減少している。
これは主に、他会計補助金が減少したことによるものである。

ウ 特別利益

なし

(2) 費用の部

費用の内訳は、下表のとおりである。

費用内訳表

(単位:千円・%)

区 分		令和 5 年度		令和 4 年度	令和 3 年度	前年度との比較	
		金額 A	構成比	B		増減C (A-B)	率C/B
費用	1 医業費用	8,747,280	93.9	8,788,427	8,409,832	△ 41,147	△ 0.5
	(1) 給与費	4,866,782	52.3	4,836,945	4,673,372	29,837	0.6
	(2) 材料費	1,783,739	19.1	1,751,983	1,662,507	31,756	1.8
	薬品費	1,071,214	11.5	998,288	901,431	72,926	7.3
	診療材料費	641,466	6.9	684,712	687,443	△ 43,246	△ 6.3
	給食材料費	66,936	0.7	65,460	68,411	1,476	2.3
	医療消耗備品	4,123	0.0	3,523	5,222	600	17.0
	(3) 経費	1,531,480	16.4	1,535,069	1,426,500	△ 3,589	△ 0.2
	(4) 減価償却費	539,594	5.8	641,739	632,960	△ 102,145	△ 15.9
	(5) その他	25,685	0.3	22,691	14,493	2,994	13.2
	2 医業外費用	567,725	6.1	494,011	454,912	73,714	14.9
	(1) 支払利息	104,639	1.1	122,047	139,989	△ 17,408	△ 14.3
	(2) 長期前払消費税償却	0	0.0	0	0	0	—
	(3) その他医業外費用	463,086	5.0	371,964	314,923	91,122	24.5
	3 特別損失	0	0.0	0	5,037	0	—
	(1) その他特別損失	0	0.0	0	5,037	0	—
計		9,315,005	100.0	9,282,438	8,869,781	32,567	0.4

ア 医業費用

医業費用は8,747,280千円で、前年度に比べ41,147千円(△0.5%)減少している。

これは主に、材料費及び給与費が増加したものの、減価償却費が減少したことによるものである。

イ 医業外費用

医業外費用は567,725千円で、前年度に比べ73,714千円(14.9%)増加している。

これは、支払利息が減少したものの、その他医業外費用が増加したことによるものである。

ウ 特別損失

なし

4 財政状況

資産、負債及び資本の内訳は、下表のとおりである。

主要勘定貸借比較表

(単位：千円・%)

区 分			令和5年度		令和4年度 B	令和3年度	前年度との比較	
			金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B
借 方	資 産	1 固定資産	8,894,782	77.1	7,953,990	8,299,895	940,792	11.8
		2 流動資産	2,635,867	22.9	3,274,464	3,312,851	△ 638,597	△ 19.5
	資産合計		11,530,649	100.0	11,228,454	11,612,746	302,195	2.7
貸 方	負 債	1 固定負債	6,019,125	52.2	5,493,028	6,325,949	526,097	9.6
		2 流動負債	2,483,253	21.6	2,190,819	2,133,666	292,434	13.3
		3 繰延収益	532,845	4.6	561,819	536,170	△ 28,974	△ 5.2
		負債合計	9,035,223	78.4	8,245,666	8,995,785	789,557	9.6
	資 本	4 資本金	12,028,684	104.3	11,967,177	11,907,411	61,507	0.5
		5 剰余金	△ 9,533,258	△ 82.7	△ 8,984,389	△ 9,290,450	△ 548,869	△ 6.1
		資本合計	2,495,426	21.6	2,982,788	2,616,961	△ 487,362	△ 16.3
	負債・資本合計		11,530,649	100.0	11,228,454	11,612,746	302,195	2.7

(1) 資産の部

資産の内訳は、下表のとおりである。

資産内訳表

(単位：千円・%)

区 分			令和5年度		令和4年度 B	令和3年度	前年度との比較	
			金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B
借 方	資 産	1 固定資産	8,894,782	77.1	7,953,990	8,299,895	940,792	11.8
		(1)有形固定資産	8,890,426	77.1	7,949,676	8,295,614	940,750	11.8
		土地	1,114,298	9.7	1,114,298	1,114,298	0	—
		建物	5,667,233	49.1	5,687,698	5,907,542	△ 20,465	△ 0.4
		構築物	24,218	0.2	24,218	24,218	0	—
		器械及び備品	2,070,922	18.0	1,122,455	1,241,999	948,467	84.5
		車両	1,163	0.0	557	557	606	108.8
		建設仮勘定	12,592	0.1	450	7,000	12,142	2,698.2
		(2)投資	4,356	0.0	4,314	4,281	42	1.0
		長期前払消費税	0	0.0	0	0	0	—
		その他投資	4,356	0.0	4,314	4,281	42	1.0
		2 流動資産	2,635,867	22.9	3,274,464	3,312,851	△ 638,597	△ 19.5
		(1)現金及び預金	1,612,121	14.0	1,814,181	2,101,445	△ 202,060	△ 11.1
		(2)未収金	989,818	8.6	1,427,760	1,183,758	△ 437,942	△ 30.7
		(3)貸倒引当金	△ 5,246	0.0	△ 5,323	△ 4,918	77	1.4
		(4)貯蔵品	38,803	0.3	35,122	32,220	3,681	10.5
		(5)前払金	371	0.0	2,724	346	△ 2,353	△ 86.4
	資 産 合 計		11,530,649	100.0	11,228,454	11,612,746	302,195	2.7

ア 固定資産

固定資産は8,894,782千円で、前年度に比べ940,792千円(11.8%)増加している。
これは主に、器械及び備品が増加したことによるものである。

イ 流動資産

流動資産は2,635,867千円で、前年度に比べ638,597千円(△19.5%)減少している。
これは主に、未収金が減少したことによるものである。
また、貯蔵品の状況について、たな卸検査を実施したところ、適正に管理されていた。

有形固定資産明細書

(単位：千円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末 償却未済高
					当年度 増加額	当年度 減少額	累計	
土地	1,114,298	0	0	1,114,298	0	0	0	1,114,298
建物	18,045,097	253,058	0	18,298,155	273,523	0	12,630,922	5,667,233
構築物	484,361	0	0	484,361	0	0	460,143	24,218
器械及び備品	5,800,560	1,222,227	153,781	6,869,006	266,071	146,091	4,798,084	2,070,922
車両	11,138	606	0	11,744	0	0	10,581	1,163
建設仮勘定	450	12,592	450	12,592	0	0	0	12,592
合 計	25,455,904	1,488,483	154,231	26,790,156	539,594	146,091	17,899,730	8,890,426

未収金の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末現在高			令和4年度末現在高 B	増減 A-B
	過年度分	令和5年度分	計 A		
医業未収金	42,787 (0)	854,766 (12,712)	897,553 (12,712)	980,271 (14,336)	△ 82,718 (△ 1,624)
医業外未収金	0	92,265	92,265	447,489	△ 355,224
合 計	42,787	947,031	989,818	1,427,760	△ 437,942

(注) 1 令和5年度分医業未収金のうち、保険者負担分は2月調定分、3月調定分を含む(調定から2か月後に入金。)

2 () 内は、クレジットカード分

(2) 負債及び資本の部

負債及び資本の内訳は、下表のとおりである。

負債・資本内訳表

(単位：千円・%)

区 分			令和5年度		令和4年度	令和3年度	前年度との比較	
			金額 A	構成比	B		増減C (A-B)	率C/B
貸 借 方	負 債	1 固定負債	6,019,125	52.2	5,493,028	6,325,949	526,097	9.6
		(1)企業債	6,019,125	52.2	5,493,028	6,325,949	526,097	9.6
		(2)引当金	0	0.0	0	0	0	—
		2 流動負債	2,483,253	21.6	2,190,819	2,133,666	292,434	13.3
		(1)企業債	1,078,303	9.4	1,106,420	1,036,631	△ 28,117	△ 2.5
		(2)未払金	1,059,159	9.2	753,585	766,172	305,574	40.5
		(3)引当金	315,110	2.7	301,205	302,429	13,905	4.6
		(4)預り金	30,681	0.3	29,609	28,434	1,072	3.6
		3 繰延収益	532,845	4.6	561,819	536,170	△ 28,974	△ 5.2
		(1)長期前受金	1,214,215	10.5	1,180,740	1,098,412	33,475	2.8
		(2)長期前受金収益化累計額	△ 681,370	△ 5.9	△ 618,921	△ 562,242	△ 62,449	△ 10.1
		負 債 合 計	9,035,223	78.4	8,245,666	8,995,785	789,557	9.6
	資 本	4 資本金	12,028,684	104.3	11,967,177	11,907,411	61,507	0.5
		(1)自己資本金	12,028,684	104.3	11,967,177	11,907,411	61,507	0.5
		5 剰余金	△ 9,533,258	△ 82.7	△ 8,984,389	△ 9,290,450	△ 548,869	△ 6.1
		(1)欠損金	△ 9,533,258	△ 82.7	△ 8,984,389	△ 9,290,450	△ 548,869	△ 6.1
		当年度未処理欠損金	△ 9,533,258	△ 82.7	△ 8,984,389	△ 9,290,450	△ 548,869	△ 6.1
		資 本 合 計	2,495,426	21.6	2,982,788	2,616,961	△ 487,362	△ 16.3
	負 債 ・ 資 本 合 計		11,530,649	100.0	11,228,454	11,612,746	302,195	2.7

ア 固定負債

固定負債は6,019,125千円で、前年度に比べ526,097千円(9.6%)増加している。
これは、企業債が増加したことによるものである。

イ 流動負債

流動負債は2,483,253千円で、前年度に比べ292,434千円(13.3%)増加している。
これは主に、企業債が減少したものの、未払金が増加したことによるものである。

ウ 繰延収益

繰延収益は532,845千円で、前年度に比べ28,974千円(△5.2%)減少している。

エ 資本金

資本金は12,028,684千円で、前年度に比べ61,507千円(0.5%)増加している。

オ 剰余金

剰余金は△9,533,258千円で、前年度に比べ548,869千円(△6.1%)減少している。
これは、当年度未処理欠損金が増加したことによるものである。

5 他会計補助金等の状況

一般会計からの補助金等については、下表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分			令和 5 年度 A	令和 4 年度 B	令和 3 年度	前年度との比較	
						増減C (A-B)	率C/B
収益的収入	補助金	救急医療	68, 537	68, 537	68, 537	0	—
		企業債償還利子	69, 164	80, 848	92, 732	△ 11, 684	△ 14. 5
		結核病床運営費	51, 217	47, 810	38, 803	3, 407	7. 1
		精神病床運営費	184, 803	176, 083	158, 093	8, 720	5. 0
		高度医療	444, 644	429, 490	429, 629	15, 154	3. 5
		感染症病床運営費	31, 882	31, 882	31, 882	0	—
		医師等研究研修費	9, 207	8, 961	6, 215	246	2. 7
		共済費追加費用	15, 830	15, 667	18, 090	163	1. 0
		基礎年金拠出金公的負担経費	0	0	0	0	—
		児童手当	21, 315	20, 950	22, 110	365	1. 7
		認知症疾患医療センター運営費	2, 272	1, 690	6, 899	582	34. 4
		病院群輪番制運営費	13, 206	13, 050	13, 050	156	1. 2
		経営強化プラン策定事業費	2, 000	0	0	2, 000	皆増
		新型コロナウイルス対策事業費	20, 000	7, 608	17, 624	12, 392	162. 9
		電力等価格高騰対策事業費	16, 785	43, 813	0	△ 27, 028	△ 61. 7
		計	950, 862	946, 389	903, 664	4, 473	0. 5
資本的収入	出資金	企業債償還元金	59, 007	57, 266	86, 261	1, 741	3. 0
		医療機器購入費	10, 475	88, 063	17, 367	△ 77, 588	△ 88. 1
		施設改良費	30, 000	0	0	30, 000	皆増
		計	99, 482	145, 329	103, 628	△ 45, 847	△ 31. 5
合 計			1, 050, 344	1, 091, 718	1, 007, 292	△ 41, 374	△ 3. 8

他会計補助金等は1,050,344千円で、前年度に比べ41,374千円(△3.8%)減少している。

このうち収益的収入は950,862千円で、前年度に比べ4,473千円(0.5%)増加し、資本的収入は99,482千円で、前年度に比べ45,847千円(△31.5%)減少している。

6 キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A-B
1 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	△ 548,869,282	306,060,373	△ 854,929,655
減価償却費	539,594,113	641,739,471	△ 102,145,358
引当金の増加額 (△減少)	13,828,000	△ 819,000	14,647,000
長期前受金戻入額	△ 62,448,645	△ 56,678,787	△ 5,769,858
固定資産除却損・売却益	7,689,011	7,963,500	△ 274,489
受取利息収入 (△)	0	0	0
支払利息	104,639,100	122,047,204	△ 17,408,104
未収金の増加 (△)・減少額	503,741,483	△ 258,950,633	762,692,116
未払金の増加・減少 (△) 額	38,241,097	40,946,987	△ 2,705,890
たな卸資産の増加 (△)・減少額	△ 3,680,951	△ 2,901,610	△ 779,341
長期前払消費税	0	0	0
その他の流動資産の増加 (△)・減少額	△ 62,524	36,923	△ 99,447
その他の流動負債の増加・減少 (△) 額	1,072,057	1,174,601	△ 102,544
小 計	593,743,459	800,619,029	△ 206,875,570
利息受取額	0	0	0
利息支払額	△ 104,639,100	△ 122,047,204	17,408,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	489,104,359	678,571,825	△ 189,467,466
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産取得・建設改良実施額	△ 1,488,032,642	△ 303,764,995	△ 1,184,267,647
固定資産取得・建設改良実施に係る補助金等収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0
一般会計からの繰入金	94,982,000	142,094,000	△ 47,112,000
投資	△ 42,000	△ 33,500	△ 8,500
投資活動に伴う前払金等の債権の増加 (△)・減少額	2,416,000	12,533,000	△ 10,117,000
投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少 (△) 額	119,977,808	△ 53,533,556	173,511,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,270,698,834	△ 202,705,051	△ 1,067,993,783
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	0	0	0
一時借入れの返済による支出	0	0	0
建設改良等に係る企業債償還による支出	△ 1,106,420,539	△ 1,036,631,412	△ 69,789,127
建設改良等に係る企業債による収入	1,604,400,000	273,500,000	1,330,900,000
財務活動に伴う前払金等の債権の増加 (△)・減少額	△ 65,800,000	0	△ 65,800,000
財務活動に伴う未払金等の債務の増加・減少 (△) 額	147,354,983	0	147,354,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	579,534,444	△ 763,131,412	1,342,665,856
4 資金増加額	△ 202,060,031	△ 287,264,638	85,204,607
5 資金期首残高	1,814,180,886	2,101,445,524	△ 287,264,638
6 資金期末残高	1,612,120,855	1,814,180,886	△ 202,060,031

7 経営分析

分析項目			令和 5年度	令和 4年度	令和 3年度	全国平均 (令和4年度)	算 式
構 成 比 率	固定資産 構成比率	%	77.1	70.8	71.5	66.0	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$
		総資産の固定化の度合いを表すもので、比率の低い方が望ましい。					
	固定負債 構成比率	%	52.2	48.9	54.5	45.9	$\frac{\text{固 定 負 債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$
		固定負債と総資本との割合を表すもので、比率の低い方が望ましい。					
	自己資本 構成比率	%	26.3	31.6	27.2	40.9	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$
		総資本のうち自己資本の占める割合を示したもので、比率の高い方が望ましい。					
財 務 比 率	固定比率	%	—	—	—	161.5	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$
		固定資産と自己資本との割合で資本固定化の程度を示すものであり、100%以下であることが望ましい。					
	固定資産対 長期資本比率	%	98.3	88.0	87.6	76.1	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$
		固定資産と長期資本との割合で資本固定化の程度を示すものであり、100%以下であることが望ましい。					
	流動比率	%	106.1	149.5	155.3	257.7	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$
		企業の支払能力を見るもので、この比率が大きいくほど支払能力が高いとされている。					
回 転 率	自己資本 回転率	回 転	—	—	—	1.4	$\left(\frac{\text{医 業 収 益}}{\frac{\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}}{2}} \right)$
		自己資本の働きを観察したもので、数値が大きいくほど資本が効率的に使われていることを示す。					
	流動資産 回転率	回 転	2.5	2.3	2.6	1.7	$\left(\frac{\text{医 業 収 益}}{\frac{\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}}{2}} \right)$
		流動資産の使用利用度を表すもので、数値が高いほど運用形態が良好なことを示す。					
	未収金回転率	回 転	6.1	5.8	6.3	4.6	$\left(\frac{\text{医 業 収 益}}{\frac{\text{期首未収金}+\text{期末未収金}}{2}} \right)$
		未収金の回収度を測定するもので、数値が高ければ未収金の回収速度が良好なことを示す。					
収 益 率	総収支比率	%	94.1	103.3	114.0	104.3	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$
		総収益と総費用との割合で、営業活動の能率を表すものであり、比率の高い方が望ましい。					
	医業収支比率	%	84.1	86.5	92.6	87.8	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$
		医業収益と医業費用との割合で営業活動の能率を表すものであり、この比率が高いほど経営状態が良好なことを示す。					
	総資本利益率	%	△4.8	2.7	10.8	3.3	$\left(\frac{\text{当年度経常利益 (損失)}}{\frac{\text{期首総資本}+\text{期末総資本}}{2}} \right) \times 100$
		経常利益と総資本との割合で、企業全体の収益性を表すものであり、比率の高い方が望ましい。					

分 析 項 目			令和 5年度	令和 4年度	令和 3年度	全国平均 (令和4年度)	算 式		
そ の 他	医業収益に対する 職員給与費の割合	%	62.6	59.9	56.3	55.8	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$		
		医業収益に対する職員給与費の割合であり、比率が低ければ効率的な運営であることを示す。							
	医業費用に対する 職員給与費の割合	%	52.6	51.8	52.2	48.5	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業費用}} \times 100$		
		医業費用に占める職員給与費の割合であり、比率が低ければ効率的な運営であることを示す。							
	病床利用率			62.1	66.3	67.2	66.6	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	
			一般病床	66.5	71.3	70.3	67.9		
			結核病床	25.0	49.8	43.6	19.8		
			精神病床	51.5	48.0	60.4	53.6		
			感染症病床	0.0	0.0	0.0	33.9		
		ベッドがどれだけ利用されたかを示すものであり、比率が高ければ利用効率が良好なことを示す。							
	1 日平均 患者数	入 院	人	231.6	247.4	269.5	225.0	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$	
		外 来	人	666.7	706.0	729.2	576.0	$\frac{\text{年間延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$	
		1年間を通じての1日平均患者数であり、数値が高ければ収益面で良好なことを示す。							
	患者1人1日当たり診療収入		円	28,777	27,960	27,321	31,930	$\frac{\text{入院・外来収益}}{\text{年間延入院・外来患者数}}$	
				入 院	59,792	58,325	55,792	59,103	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年間延入院患者数}}$
				外 来	12,550	11,974	11,453	16,188	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年間延外来患者数}}$
患者1人1日当たりの平均の診療収入であり、数値が高ければ収益面で良好なことを示す。									
薬品使用効率	投薬薬品	%	75.0	77.9	76.9	93.2	$\frac{\text{薬品収入(投薬分)}}{\text{投薬用薬品費}} \times 100$		
	注射薬品		81.7	80.1	76.9	94.8	$\frac{\text{薬品収入(注射分)}}{\text{注射用薬品費}} \times 100$		
	薬品費に対する薬品収入の割合を示すものであり、比率の100%を超える部分が利益の大きさを示しており、この比率が高ければ収益面で良好なことを示す。								

- (注) 1 各比率の算出方法及び計算の際に用いた基礎数値は、総務省自治財政局編「令和4年度地方公営企業年鑑」の例による。
2 全国平均は、総務省自治財政局編「令和4年度地方公営企業年鑑」の数値である。
構成比率から収益率までの項目は、経営主体が市である公立病院の数値である。また、その他の項目は、300以上400未満のベッド数を所有する公立病院の数値である。
3 自己資本＝資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益
4 総資本＝負債・資本合計